

瀬戸内海に面した愛媛県宇和島市でこの夏、第1回目となる芸術展「AT ART UWAJIMA 2013（アットアート宇和島）」が開催される。期間は7月24日から8月22日までの約1カ月。主催は、特定非営利活動法人（NPO法人）のSO-EN（創縁）。後援が宇和島市。協賛が福武財団、愛媛銀行など。展示会場は、「木屋旅館」と宇和島きさいやロードにある「SITUATIONALLY」の2カ所。

宇和島で今夏開催

1911年創業の木屋旅館は、明治時代の旅籠の面影が残る木造2階建ての老舗旅館。多くの文豪が宿泊したこともある。95年に惜しまれつつ廃業したが、昨年、建築家の永山祐子氏の手により新しい滞在型の観光名所として再生された。



⑤東幸氏⑥木屋の染み
作品イメージ © Tabaino
/courtesy of gallery koy
anagi

AT ART UWAJIMA 2013

1日1客の体験型の宿泊施設となっている。2階の床の一部には、透明の亚克力板を用いた。これにより、1階から2階が丸見えになるなど、宿泊者が滞在中、飽きないように施した仕掛けが随所にある。最小2人から最大8人まで1組限定（会期中のみ最大12人まで）。一方の宇和島きさいやロードは、毎年7月22、24日の3日間、「うわじま牛鬼祭り」が行われる商店街として知られる。

現代美術で街おこし

木屋旅館では、「きょうの猫村さん」などの漫画家・ほしよりこ氏が木屋旅館を訪れたある家族とカップルをモチーフにした小説をもとに、現代美術家の東幸（たばいも）氏が、旅館の天井や壁といった空間にアニメーション映像を投影し、木屋旅館全体を映像インスタレーション作品に仕上げる。プロジェクター10台を使い、6つの映像を展開。デジタルサイネージ

手掛ける東幸氏の作品は、多くの国際展で紹介されており、パリのカルティエ現代美術館などで個展も開かれた。14年には、シドニー現代美術館で個展の開催を予定する。同氏のユニークな映像作品は、特に海外から評価されている。

その東幸氏は、「現代美術を使った街おこしは難しい部分もあるが、（現代美術は）分かりづらいから興味を持ってもらえる側面もある」と話す。また、

（電子看板）を得意とするNECディスプレイソリューションズが機材を提供する。木屋旅館の展示期間中の宿泊料金は、税別2万円と1人につき同5500円。一般向け展示は午後2時から5時まで。

SITUATIONALLYは、閉店した文具店と隣接した空気を改装した新スペース。4人のアーティストが作品を展開する。こちらは午前10時から午後5時30分まで鑑賞できる。

今回の芸術展は、7月20日から開催される「瀬戸内国際芸術祭」を強く意識した。同芸術祭との相乗効果で多くの観光客を呼び込みたい考えだ。

AT ART UWAJIMA 2013についての問い合わせ先は、SO-EN ☎0800-31163（8643）もじは、EM info@uwajima-soen.com



木屋旅館、内観